



教育情報



1年を振り返って

桂川幼稚園

園長 長野陽一

本園では、運動遊びや花、野菜の栽培活動を通して、異年齢児との関わりを深めることに重点を置き取り組みを進めました。

運動遊びでは、全園児が運動場に集合し、毎朝15分間の運動に取り組みました。全員で体操し、運動場を走った後は、各学級それぞれで運動をします。運動会では、年長児は全員が竹馬を使って入場しました。

運動会が終わった後は、毎朝登園して来た子から遊戯室で、逆上がり、跳び箱に挑戦しました。逆上がり、跳び箱5段は、「やればできる」を実感するにはもってこいの運動です。毎日の練習の成果が現れ、年長児は8割以上の子が両方できるようになりました。年中児も年長児を見習って練習しています。できる子がどんどん増えています。来年度が楽しみです。

花や野菜の栽培活動では、1年を通

VOL.70

「桂川っ子」の文字は、桂川中学校美術部員がデザインしたものです。



して季節に応じたたくさんのお花や野菜を栽培しました。チューリップやピオラ、パンジーなどもどんどん生長しており、園児たちはきれいな花が咲くのを楽しみにしています。

また、今年はおぐらの被害にあいましたが、夏野菜、冬野菜がたくさん収穫できました。収穫した野菜は昼食のときに食べたり、保護者会の協力を得て、カレーや雑煮などを作ってもらったりして、みんなでおいしく食べました。他にも、ふかし芋や焼き芋にしたり、落花生は、自分たちで殻をむき、バターピーナツにして食べました。家に持って帰った野菜は、弁当のおかずにもなっています。弁当の中に野菜が1品はあるなど、野菜嫌いの子どもも少しずつ野菜を食べるようになりました。みんなで収穫の喜びを味わうことができた1年でした。



ネット等でのトラブル

中学生で急増中！

桂川中学校

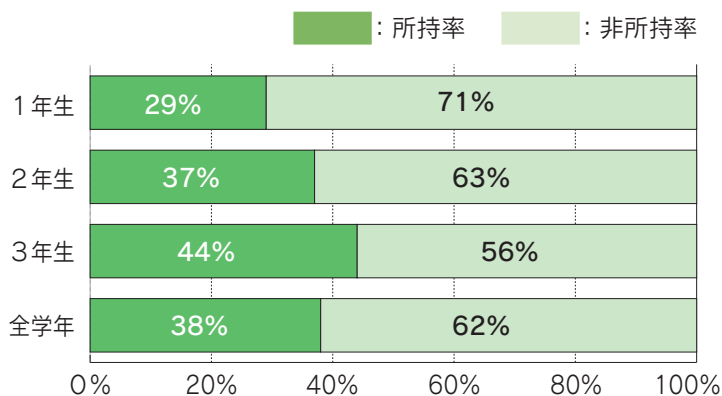
校長 安永保之

福岡県中学校の約88%で、インターネット等（携帯電話）に関係する生徒指導上の問題が発生しています。多くは相手を誹謗中傷する書き込みです。学校は携帯電話等の持ち込みは禁止していますので、トラブルが起こった後に保護者などからの連絡でわかります。しかし、携帯電話等の所持は家庭の問題であり、また、プライバシーとの関係で、解決に多くの時間と関係機関との連携が必要となります。

また、昨年8月に日本大学の和田隆教授を代表とする研究チームが、「ネット依存」の中高校生は51万人を超えると公表しました。スマートフォン、オンラインゲームなどインターネットを長時間使い続け、なかなかやめられず、睡眠不足、昼夜逆転、欠席、成績低下、引きこもりなどの子どもが増加している実態があるとのこと。

桂川中学校生徒の携帯電話等の所持率は県平均より18%低い35%です。この35%の生徒が、今後もラインやチェンメールでの書き込みによりケンカやいじめなどに関わる可能性、ネット依存症となっていくことも考えられます。

桂川中学校生徒の携帯電話の所持率（平成25年7月現在）



- 携帯電話等は、
- ① 18歳まで持たせない。
 - ② 必要な時は親の携帯を貸す。
 - ③ 持たせたなら、フィルタリング機能を利用させる。夜8時以降は親が預かる。
 - ④ ルールを決め、守れない時は解約する。
- など、子どもの健全育成にむけて、PTAと協議しながら、対策を練っていきます。